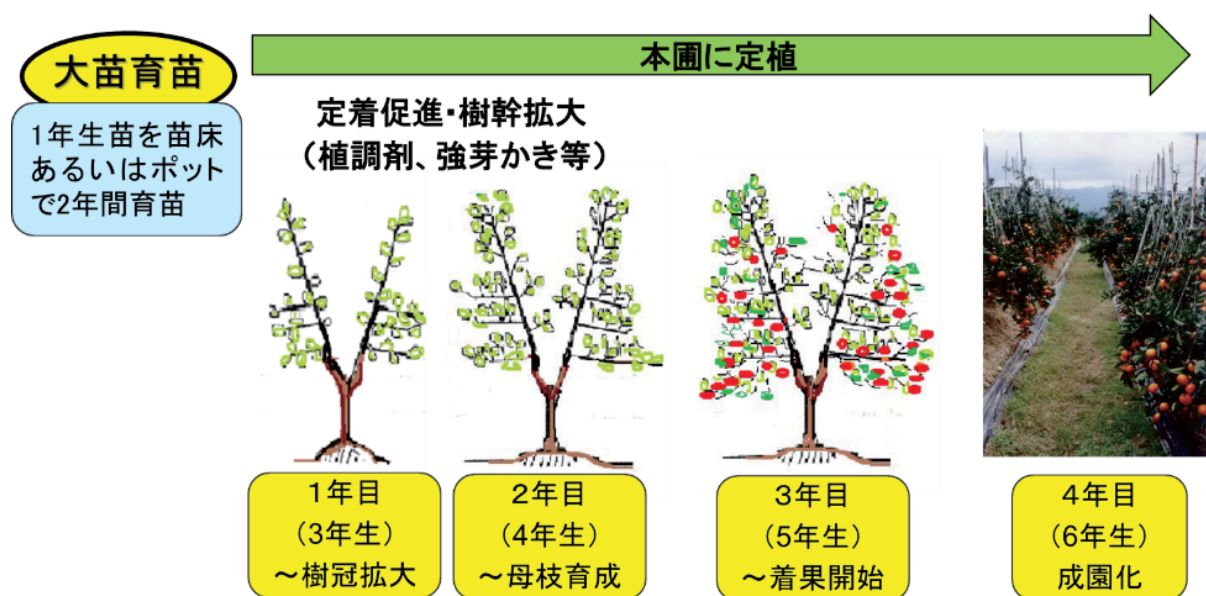


3. 作物(水稲、麦類、大豆、野菜等)栽培技術

みはやの早期成園化と高品質果実安定生産

1. 地震でカンキツ園の樹がダメージを受け樹の更新が必要な場合、「みはや」は11月下旬に成熟期を迎える早生品種として有望です。
2. 多くが種なしとなり、皮もむきやすく、赤く滑らかな外観は見栄え抜群で、食味・芳香もよいなど、極めて高い商品性を持ちます。
3. 集約的な苗管理で早期の主枝・亜主枝の骨格が完成した3年生の大苗を定植することにより、早期成園化が可能です。
4. 定植後は主枝を適正に誘引して枝葉の発生を促し、樹冠の拡大を図り、定植3年目で初結実、4年目で成園化できます。
5. 農食事業「みはや栽培確立」では熊本県も参画して栽培マニュアルを公表しています。



「みはや」早期成園化のイメージ

参考文献

- 1) 「みはや」栽培マニュアルー早期成園化と高品質果実安定生産ー
https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/061561.html
- 2) 種苗の入手情報 (キーワード検索欄に品種名をご入力下さい)
http://www.naro.affrc.go.jp/patent/breed/seeds_list/index.html

問い合わせ先: 農研機構 果樹茶業研究部門 029-838-6453